

令和6年4月

発行人：中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京 PCB 処理事業所



東京PCB廃棄物処理事業だより (No.77)

東京 PCB 廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での令和6年1月～3月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	1月～3月 処理完了台数	操業開始からの 処理完了台数の累計
トランス類	0台	3,799台
コンデンサ類	73台	85,398台

*低濃度 PCB 廃棄物については、平成25年6月に処理を完了いたしました。

令和6年度事業方針

4月1日、年度初めにあって、JESCO 東京 PCB 処理事業所・田中所長から JESCO 社員と運転会社の東京環境オペレーション(株)社員に令和6年度事業所方針について訓示を行いました(内容は以下の囲み)。

令和6年度は、事業終了準備期間の2年目となり、令和7年度末までに確実に処理を完了するための重要な年度と捉え、環境省及び自治体と更に連携して処理を促進します。

解体撤去では、操業中に計画している不要設備(高濃度 PCB 処理施設の4設備)について、先行して解体撤去の準備を進めます。

処理対象物の確実な処理、運転廃棄物の処理、先行解体撤去の取組等、全てにおいて「安全」を最優先に取組むことを全員で誓いました。



事業所方針所長訓示

令和6年度 JESCO 東京 PCB 処理事業所方針

1. 安全・確実な操業体制を確保し、信頼される操業を維持する。
2. 事業終了準備期間に発覚する処理対象物を計画的かつ確実な処理を推進する。
3. 運転廃棄物及び解体廃棄物を適正に調整・処理することにより保管量の低減に努める。
4. 施設の維持保全計画に基づく設備保全により、設備の健全性の維持に努める。
5. 先行解体撤去の着実な実施と工事・作業の安全確保に努める。

ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会

東京 PCB 処理事業部会を開催しました

2月29日、JESCO 本社を会場に、会場及び Web 参加にて2023年度第3回東京 PCB 処理事業部会(主査：永田勝也早稲田大学名誉教授)を開催しました。



東京事業部会

部会の概要は以下のとおりです。

議題1として、東京 PCB 処理事業所 2023年度下期の操業状況と解体撤去工事の実績

議題2として、東京 PCB 処理事業所 今後の処理見通し

議題3として、「本格解体撤去工事完了までの施設の維持保全計画」の改訂

議題4として、2023年度設備保全実施項目と2024年度設備保全予定項目

議題5として、「東京 PCB 処理事業所 2023年度 施設の解体撤去工事に関する現状と今後の予定」の改訂

議題6として、東京 PCB 処理事業所 先行解体撤去工事に関する文書の策定(その5)

- 1) 「コンデンサー解体設備の洗浄計画書(案)」
- 2) 「コンデンサー解体設備のPCB付着状況調査計画書(案)」
- 3) 「鉄心コイル破砕・分別設備のPCB付着状況調査計画書(案)」
- 4) 「廃粉末活性炭スラリー化設備の洗浄計画書(案)」
- 5) 「廃粉末活性炭スラリー化設備のPCB付着状況調査計画書(案)」

議題7として、東京PCB処理事業所 2023年度 内部技術評価の結果報告と所見への対応
 議題8として、2024年度 東京 PCB 処理事業部会の開催時期・議題について説明しました。
 今後も各委員からご指導を頂き、引き続き安全・確実な処理を行ってまいります。

東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会を開催しました

3月25日、ホテルイースト21東京を会場とし、会場及びWeb参加にて第50回東京ポリ化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会（委員長：森口祐一 国立環境研究所理事）を開催しました。



環境安全委員会

委員会の概要は以下のとおりです。

議題1として、東京PCB処理事業所 2023年度の処理・設備保全の状況及び今後の処理見通し

議題2として、東京PCB処理事業所 PCB廃棄物処理施設の解体撤去の進捗状況について報告しました。

会議では、事業終了に向けた今後の処理及び施設の解体撤去について、ご意見・ご助言をいただきました。

いただいた貴重なご意見・ご助言等を施設の運営・管理に反映し、引き続き安全・確実な取組を行ってまいります。

※環境安全委員会は公開にて開催しており、当日配布資料は当社ホームページでご覧いただけます。

https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/environment/pla_45_00018.html

PCB 処理施設解体撤去情報

○低濃度PCB処理施設

工事期間：2023年9月～2024年3月の間で、解体撤去工事が完了しました。



撤去前



撤去中



撤去後

○リン含有PCB油前処理設備

工事期間：2023年12月～2024年3月の間で、解体撤去工事が完了しました。



撤去前



撤去中



撤去後

第4四半期（1月 - 3月）施設見学状況

1月から3月までの間に、地元自治会の見学者、1団体36名に施設見学にお越しいただきました。

	1月	2月	3月	計
団体数	-	-	1団体	1団体
見学者数	-	-	36名	36名

★「事業だより」は過去の掲載分も含め以下のJESCOホームページからご覧頂けます。

<https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/about.html>



地元自治会の見学者



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所

〒135-0066 東京都江東区海の森二丁目2番66号

TEL03-3599-6023

<https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>



東京PCB廃棄物処理事業だより (No.78)

東京 PCB 廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での令和6年4月～6月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	4月～6月 処理完了台数	操業開始からの 処理完了台数の累計
トランス類	0台	3,799台
コンデンサー類	3台	85,401台

*低濃度 PCB 廃棄物については、平成25年6月に処理を完了いたしました。

令和6年度東京PCB廃棄物処理施設の定期点検を実施しました

令和6年度定期点検を5月13日から6月17日の36日間実施しました。

期間中はすべての設備を停止して必要な法定点検と施設の安全と安定操業を維持するための様々な検査・点検・整備工事を行いました。



定期点検安全大会



定期点検中間安全大会

◆ 安全大会及び中間安全大会の開催

定期点検開始日の5月13日に安全大会を、また、定期点検中盤の5月29日に中間安全大会を開催しました。

JESCO 事業所長による安全訓示、工事元請責任者による安全宣言などで工事に対する注意喚起と安全意識の高揚を図りました。

定期点検期間中は JESCO、運転会社、ならびに協力会社が一丸となり、安全最優先で点検工事を進め今年度も無事故・無災害で終了することができました。

令和6年度全国安全週間の取組

◆ 安全大会の開催

全国安全週間（7月1日～7日）および当事業所における夏期特別安全活動期間（7月1日～9月30日）にあたり、7月1日に JESCO および運転会社合同で令和6年度安全大会を開催しました。

◎最初に JESCO 所長より以下の社長メッセージを伝達しました。

- ・ JESCO の PCB 廃棄物処理事業では、昨年度は、臨時的に設けた足場を越える際に転倒し、右手の甲を裂傷した1件をはじめ、労働災害が計3件発生した。
- ・ 西の3事業所では昨年度で営業物の処理が終了したが、残る2事業所では処理を安全・確実に進めつつ、すべての事業所で解体・撤去の取組を安全・着実に進めることが必要である。
- ・ 解体・撤去はこれまでと違った新しい作業であり、とりわけ労働安全に留意し新しい作業に即した取組が必要である。
- ・ 各地域での信頼と理解の源にもなっている安全と安定操業の重要性を改めて認識し、これまでの安全活動を一人一人が各自の持ち場で振り返り、安全活動について周囲の方とも積極的に議論して安全に対する意識向上やマンネリ化防止を図ることで、労働災害防止を目指す。

◎次に、JESCO 所長より以下の訓示を行い、所員一丸となって労働災害ゼロを継続することを呼びかけました。

- ・ 東京 PCB 処理事業所の労働災害を振り返ると、発生が多かった時期は H19 年度から H25 年度の間が多く、被液、挟まれ、転倒が上位3項目で 66.7%を占める。

- 直接的な原因は個々に考えられるが、背景には、トラブルにいたる「危険の芽」に対して無防備で、対策が不十分である等「気付かず」により労災に至ってしまったと言える。
- 「気付く」については、今年度のスローガンに掲げる表現で今年度の安全大会では「気付かなかった！」ことによる労災・トラブル・業務ミスを起こさないよう「あとで後悔しないように！」を意識する機会にして欲しい。
- そのためにも、行動には5ゲン主義（3現主義の「現場」「現物」「現実」に「原理」「原則」を加える）の取組を実行する。
今後も所員一丸となって「安全最優先に取組」労働災害ゼロを継続して行く。

◆ 安全点検の実施

全国安全週間中の活動として以下の取組を行いました。

- 7月1日（月）：安全大会の日（所内安全大会）
- 7月2日（火）：保護具安全の日（保護具の点検清掃：自主活動）
- 7月3日（水）：設備安全の日（設備不備の点検：自主活動）
- 7月4日（木）：職場環境整備の日（事務所、控室、倉庫の5S：自主活動）
- 7月5日（金）：同上（現場担当エリアの5S：自主活動）

PCB 処理施設解体撤去情報

不要設備の先行解体撤去（事業終了準備期間（2023年度～2025年度）に実施するもの）

「東京 PCB 処理事業所不要設備に対する先行解体撤去工事の実施のための指針」に基づき、5設備の先行解体撤去を事業部会の審議を経ながら進めています。

先行解体撤去の進捗状況を下図に示します。

「リン含有 PCB 油前処理設備」は 2023 年 12 月～2024 年 3 月の間で解体撤去工事を完了しました。（No77 号で報告）

現在は、残る 4 設備について、各設備の特徴に対応した洗浄処理、及び付着状況調査に取り組んでいます。

解体撤去に関する情報につきましては、本事業だよりで定期的にお知らせするとともに、当社ホームページでも公開しています。

特例期間	事業終了準備期間				解体撤去期間 26～33年度	土地調査 解体工事 2034年度
	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度		
【リン含有PCB油前処理設備】		洗浄 除去分別	2023年3月に完了			
【安定器等処理設備】		洗浄 除去分別		解体撤去		
【コンデンサー解体設備】		洗浄	除去分別	解体撤去		
【鉄心コイル破砕・分別設備】			除去分別	解体撤去		
【廃粉末活性炭スラリー化設備】			解体撤去			



コンデンサー解体設備

※ PCB 含有廃水の回収機能を有するため
高圧温水洗浄を採用して洗浄

第1四半期（4月 - 6月）施設見学状況

令和6年4月から6月までの間、施設見学にお越しいただいた方はございませんでした。

※見学を希望される場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。

★「事業だより」は過去の掲載分も含め以下の JESCO ホームページからご覧頂けます。

(<https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/about.html>)



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京 PCB 処理事業所

〒135-0066 東京都江東区海の森二丁目2番66号

TEL03-3599-6023

<https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>



東京PCB廃棄物処理事業だより (No.79)

東京 PCB 廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での2024年7月～9月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	7月～9月 処理完了台数	操業開始からの 処理完了台数の累計
トランス類	2台	3,801台
コンデンサー類	108台	85,509台

*低濃度 PCB 廃棄物については、2013年6月に処理を完了いたしました。

ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 東京 PCB 処理事業部会を開催しました

8月5日、JESCO 本社を会場に、会場および Web 参加にて2024年度第1回東京PCB処理事業部会（主査：永田勝也早稲田大学名誉教授）を開催しました。

部会の概要は以下のとおりです。

議題1：東京PCB処理事業所 2023年度のPCB処理及び設備等の解体撤去工事の実績

議題2：東京 PCB 処理事業所 維持保全計画に基づく2023年度の設備保全の実施結果

議題3：東京 PCB 処理事業所 2024年度 これまでの操業状況、設備保全及び解体撤去工事の実施状況

議題4：東京 PCB 処理事業所 2024年度 施設の解体撤去工事に関する現状と今後の予定

議題5：東京 PCB 処理事業所 「東京 PCB 処理施設の解体撤去工事における対応の原則」の策定

議題6：東京 PCB 処理事業所 「設備・装置・機器及び建築物等の解体撤去工事における重要な指針」

の策定

議題7：東京 PCB 処理事業所 先行解体撤去工事に関する文書の策定（その6）

1) 「東京 PCB 処理事業所 不要設備の先行解体撤去工事の実施計画書」の改定

2) 東京 PCB 処理事業所 リン含有 PCB 油前処理設備の解体・撤去工事結果報告書

議題8：令和6年度 東京 PCB 処理事業所 内部技術評価の実施計画

議題9：2024年度 東京 PCB 処理事業部会の開催時期・議題

議題10：その他（東京 PCB 処理事業所 低濃度 PCB 処理施設(プラント設備)解体撤去工事結果報告書について説明)

今後も各委員からご指導を頂き、引き続き安全・確実な処理を行ってまいります。



東京 PCB 処理事業部会

PCB 処理施設解体撤去情報

不要設備について、2026年度から始まる本格解体撤去に先行して事業終了準備期間（2023年度～2025年度）において、解体撤去を実施しています。（次ページの図参照）

2024年7月～9月では、洗浄作業やPCB除去分別を実施しました。

解体撤去工事は、「JESCO 解体撤去実施マニュアル」に準拠して実施しています。

東京事業部会でご指導を頂き「先行解体撤去工事の実施のための指針」を定め、さらに具体的な対応として「東京 PCB 処理施設の解体撤去工事における対応の原則」を制定しました。

先行解体撤去は、同部会において専門的な見地から計画段階から結果に至るまでご審議頂き、安全と環境に配慮して進めてまいります。

特例期間	事業終了準備期間			解体撤去期間
	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
【リン含有PCB油前処理設備】			2024年3月に完了	
【安定器等処理設備】				
【コンデンサー解体設備】				
【鉄心コイル破碎・分別設備】				
【廃粉末活性炭スラリー化設備】				

不要設備の先行解体撤去スケジュール



除去分別前



除去分別後

“緑のカーテン”で遮光遮熱対策を実施しました

夏場の省エネ対策の一環として、1階事務室南東面の窓に、遮光遮熱を目的にゴーヤを栽培しました。

真夏の太陽の日差しをふんだんに浴びたゴーヤは成長著しく、窓を覆い尽くす“緑のカーテン”は日差しを遮ると共に、多くの実を付けて省エネ効果を高める一助となりました。

育ったゴーヤは希望する社員に分配して食され、社員の夏バテ防止にも役立ちました。



成長したゴーヤ

環境報告書 2024 を公表しました

JESCO では、昨年度の事業活動に係る環境配慮等の状況をとりとまとめた「環境報告書 2024」を 9月 24日に公表しました。

作成に当たっては、開示情報の信頼性確保のため、第三者審査を実施しています。

※『環境報告書 2024』は、当社のHPにも掲載しております。是非ご覧ください。

<https://www.jesconet.co.jp/company/environment/index.html#anchor03>



第2四半期（7月 - 9月）施設見学状況

2024年7月から9月までの間に、スーパーエコタウン見学会の参加者他、2団体 23名に施設見学にお越しいただきました。

	7月	8月	9月	計
団体数	2団体	-	-	2団体
見学者数	23名	-	-	23名

★「事業だより」は過去の掲載分も含め以下の JESCO ホームページからご覧頂けます。

<https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/about.html>



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京 PCB 処理事業所

〒135-0066 東京都江東区海の森二丁目2番66号

TEL03-3599-6023

<https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>